

Stereo Sound Grand Prix 2020



New Components Review

2021

WINTER

アートディレクター
塚本健嗣

表紙写真
相澤利一

本文デザイン
塚本健嗣
山西雅子

本文写真
古山久美
相澤利一
後藤敦子
嶋津彰夫
ステレオサウンド編集部

表紙
CLASSE
Delta Pre
+
Delta Mono

スピーカーシステム

432 ● アルベド	Amira
396 ● オーディオネック	Evo2
404 ● B&W	603 S2 Anniversary Edition 606 S2 Anniversary Edition 607 S2 Anniversary Edition
394 ● ベイズオーディオ	Courante 2.0
433 ● チャリオ	Pegasus
402 ● ディナウディオ	Contour 30i / Contour 20i
436 ● KEF	LS50 Meta
435 ● クリプトン	KX1.5
434 ● リン	Majik 140 SE
400 ● マーテン	Parker Duo Diamond Edition
406 ● ソナス・ファベール	Lumina III / Lumina I
398 ● ウィルソンオーディオ	Sabrina X

SACD/CD プレーヤー

408 ● アキュフェーズ	DP570
410 ● マークレビンソン	No5101

CD プレーヤー

437 ● マランツ	CD6007
------------	--------

D/A コンバーター

438 ● オーディオテクニカ	AT-DAC100
-----------------	-----------

プリアンプ

416 ● オーロラサウンド	PREGA III
439 ● ニューブライム	AMG PRA
412 ● ソウルノート	P3
414 ● ウェスギ	U・Bros 280R

パワーアンプ

418 ● オーディオ・ノート	Kagura2
440 ● クラッセ	Delta Stereo
439 ● ニューブライム	AMG STA
441 ● トライオード	TRX-P300S

プリメインアンプ

443 ● アキュフェーズ	E280
442 ● デビアレ	Expert 140 Pro
422 ● ジュノン	Junone 845S
437 ● マランツ	PM6007
420 ● オクターブ	V70 ClassA
424 ● テクニクス	SU-R1000

AD プレーヤー

426 ● クズマ	Stabi R
428 ● マークレビンソン	No5105

フォノカートリッジ

426 ● クズマ	CAR50
444 ● オルトフォン	MC A Mono
446 ● フェーズメーション	PP200
445 ● プラタナス	Platanus 3.0S

フォノイコライザー

430 ● フェーズメーション	EA2000
-----------------	--------

MC トランス

446 ● フェーズメーション	T550
-----------------	------

トーンアーム

426 ● クズマ	4Point
447 ● リード	Reed 1H

精緻な設計・加工でゼロ・トラッキングエラーを実現したトーンアームで知られる、スイスのターレス・トーンアームの主宰者が新たに設立したブランドから登場したフォノカートリッジ。最大の特徴は、カンチレバーと発電コイルのコアを、セラミックを使うことで一体成型に成功したこと。音溝からの振動情報をロスなく発電するための、新たな手法を開発したのだ。ボディ構造も巧みに振動をコントロールしているように細部まで設計に抜かりはない。

小野寺

高音域のエネルギーが猛烈であり、音像の立体感とフォークスのシャープさがまた猛烈である。本機で音楽が鳴り始めるとあまりに鮮烈であるのでギョツとしたほどだ。かつてクレルのスピーカーでロスレス損失なしという型名があったが、その型名を思い出した。本機の設計/製造者は2年前から、EMTのカートリッジ事業をすべて引き継いでいる。あのEMTが後継者として認めただけである。

傅

ターレス・トーンアームの設計者であり近年はEMTフォノカートリッジの製造でも知られるミッハ・フーバー氏が、自身が主宰するハイフィクション社で手掛けた独創的なMC型。カンチレバーと四角いコイル巻き枠をセラミック素材で一体成型することで、機械的な損失を排した画期的な発振タイプの振動系を構築した。その構造的な特徴が十分に発揮された先鋭的かつ躍動感に満ちた音は、聴き慣れているアナログ盤の印象を塗り替えてしまう。その意味で本機はきわめてオーディオ的な音を奏でるフォノカートリッジであり、聴き手にある種の緊張を強いる傾向が感じられよう。個人的にはオーディオ的な快感をもたらす挑戦的な音と高評価しているが、調整に対して過敏な反応を示す気難しさもあるようだ。歴史があり構造的にも確立されてきたMC型に二石を投じる注目機。

三浦

ハイスピードで目の覚めるようなサウンド。 MC型の構造に二石を投じる独創的な注目機



X-QUISITE